５・６年生から

**『ふしぎ文房具店(ぶんぼうぐてん)の
八雲(やくも)さん』(913 オ)
小川 彗(おがわ すい)／作、たま／絵、
みらい文庫／編集(へんしゅう)、集英社**



　みなさんが、ふだん使っている文房具。
それを使って願い事がかなうとしたら、ちょっと
気になりませんか？
　この本には、ふしぎな文房具のお話が５つ
はいっています。その中には、あなたのほしい物も
あるかもしれません。ただし、買うときに店長の
八雲さんとした約束を守らないと、大変なことに
なってしまうので気をつけてください。





お知らせ

桶川市電子図書館
(おけがわ し　でん し　と しょかん)

桶川市電子図書館

図書館りようカードとパスワードを持(も)っていて、
桶川市内(しない)に住(す)んでいる人、
桶川市内の学校(がっこう)に通(かよ)っている人、
桶川市内ではたらいている人が使(つか)えます。

図書館カレンダー

11月						
日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

お休み	※毎週月曜日、桶川・川田谷図書館はお休みです。 ※11月24日(火曜)～11月29日(日曜)は、本の点検のため、桶川・川田谷図書館はお休みです。
おはなし会	桶川(おけがわ)図書館　（TEL　771-0303） 川田谷(かわたや)図書館（TEL　786-8846） 毎週土曜日　午前10時30分～11時
	坂田(さかた)図書館　（TEL　783-2150） 毎週土曜日　午前11時～11時30分
	中央(ちゅうおう)図書館（TEL　786-6353） 毎週土曜日　午後3時～3時30分

☆これまでの「もりのくまさん」は、
　桶川市図書館のホームページ（図書館メニュー＞
　児童(じどう)向け図書館だより もりのくまさん）
　から見(み)られます。

桶川市図書館

☆今月の「もりのくまさん」は小学生向(む)けです。

No，４２３
もりのくまさん
おけがわしとしょかん

2026年11月1日発行　桶川市図書館

☆今月の特集(こんげつのとくしゅう)☆

11月３日は、
文具(ぶんぐ)の日です。
そこで、今月は、
文房具(ぶんぼうぐ)の
本を紹介(しょうかい)します。



ほんとうの　じぶん

**『レッド　あかくてあおいクレヨンのはなし』
（E レ）
マイケル・ホール／作(さく)、
上田 勢子(うえだ せいこ)／訳(やく)、
子どもの未来社**



　レッドは、あかい　クレヨン
です。からだの　ラベルには
「レッド」と　かいてあります。
まわりの　みんなに
はげまされて、レッドは
あかいものを　かきますが、
うまくいきません。
レッドは、だんだん　じしんが
なくなってしまいます。
　じぶんらしさって　なんだろう？　レッドは、
ほんとうの　じぶんを　みつけることが
できるでしょうか。

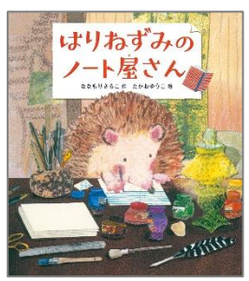
１・２年生(ねんせい)から

『えんぴつとケシゴム』(E エ)
カレン・キルパトリック、
ルイス・O・ラモス・ジュニア／文(ぶん)、
ヘルマン・ブランコ／絵(え)、
高畑 正幸(たかばたけ まさゆき)／訳(やく)、
KADOKAWA



あるところに えを
かくのが だいすきな
えんぴつと、けすのが
だいすきな ケシゴムが
いました。ケシゴムは
えんぴつが かいた えを
すこしけして えを かえてしまいます。
そんな ケシゴムを えんぴつは きにいりません。
でも いっしょに えを えがいていたら
だんだん たのしくなってきて……。
えをかくのが たのしくなる えほんです。

『はりねずみのノート屋(や)さん』(913 ナ)
ななもり さちこ／作(さく)、
たかお ゆうこ／絵(え)、福音館書店



ツンタは、ともだちになった
トトンに、なにかプレゼントを
したいとかんがえて、ノートを
つくりました。
でも、よろこんでもらえるか
しんぱいで、夜(よる)に
こっそりとどけました。
次(つぎ)に知(し)り合(あ)ったともだちにも、
ノートをつくってこっそりプレゼントします。
そんなはずかしがり屋のツンタの、ともだちへの
おもいとくふうがたっぷりなノートは、どんなもの
でしょうか？

３・４年生から

『ノートは友だち！ ３ ノートの世界(せかい)を
知ろう、楽しもう』(375 ノ 3)
伊垣 尚人(いがき なおと)／監修(かんしゅう)、
教育画劇



勉強(べんきょう)や
お絵かきをするときにいつも
使(つか)っているノート。
そのノートはどのようにして
生まれたのか、知っていますか？
粘土板(ねんどばん)から
はじまり、タブレットまで、
ノートの歴史(れきし)を紹介(しょうかい)します。
いろんなところで活躍(かつやく)している
おとなの人たちが、ノートをどう使っているのか、
そのひみつも教えてくれます！

『町工場の底力(そこぢから) 5
文房具(ぶんぼうぐ)の開拓者(かいたくしゃ)たち』
(509 マ 5)
かもがわ出版



町工場とは、町にある小さな
規模(きぼ)の工場のことです。
今回、紹介(しょうかい)して
いるのは、えんぴつ、
絵の具(えのぐ)、消(け)しゴムを
作っている工場です。
小さな工場が困難(こんなん)な
状況(じょうきょう)を乗(の)りこえ、こだわりを
もって、高品質(こうひんしつ)なものづくりを
しています。
町工場ではたらく人たちのすごい仕事(しごと)を
のぞいてみましょう。

５・６年生から

『今と昔がわかる
道具のうつりかわり図鑑(ずかん) 1』
(383 イ 1)
カルチャー・プロ／編集(へんしゅう)、汐文社



わたしたちがいつも使っている、えんぴつや
消しゴム。発明された時は、どんな形だったのでしょう？ 今の姿(すがた)になったのは、
いつ頃(ごろ)なのでしょう？
この本は、文房具(ぶんぼうぐ)のうつりかわりのようすを、豆知識(まめちしき)や進化のひみつといっしょに紹介(しょうかい)しています。
読み終わったら、誰(だれ)かに教えてあげたくなるかもしれませんね。

